

白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

第1903回例会 | 令和8年5月28日
18:30～19:30



創立40周年

○ソング

- 我等の生業

○ビジター

- 県南分区ガバナー補佐 大木和彦様
- 県南分区副幹事 谷地儀仁様

○スマイルBOX

- 県南分区ガバナー補佐 大木和彦様・県南分区副幹事 谷地儀仁様（白河西RCの皆様、あと1ヶ月でガバナー補佐の任期が終わります、お世話になりました。）
- 藤田龍文会長（本日はロータリー情報委員会の高島委員長、卓話ありがとうございました。本年度オリジナル例会は今回で最後となります。来月から回顧例会となりますので、よろしくお願いします。）
- 運天直人幹事（今年度ものこりあと1ヶ月になりました。皆様に支えて頂きありがとうございます。回顧のお願いもしてありますので最後までよろしくお願い致します。）
- 金田昇会員（県南分区ガバナー補佐大木様分区副幹事谷地様ようこそ、お世話になります。本日は少しお話をさせていただきました。）
- 居川孝男会員（いよいよ藤田、運天年度もあと1ヶ月ですね、ラストスパート頑張りましょう！）
- 沼田重一会員（県南分区ガバナー補佐大木様、同じく副幹事谷地様ようこそ！高島委員長、卓話ありがとうございました。スマイルボックスの目標も100%を超えそうです。過去最高額を目ざしますので、後1ヶ月協力お願いします。）
- 中嶋一貴会員（先月は結婚祝いの美味しい野菜を頂き有難うございました。40周年式典とは異なり、我家の銀婚式は大失敗で終わりました。）

5月28日 ～本日のメニュー～



- ・キュウリと塩昆布のサラダ仕立て
- ・厚揚げのネギ味噌焼き
- ・豚肉のプルコギ
- ・白飯
- ・若布スープ
- ・香の物
- ・フルーツ

▶第1903回例会出席状況

(R8年5月28日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	57名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	17
Ⓓ 全正会員数	74名
Ⓒ ①の出席者数	27名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	10名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	37名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	67
① = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	55.2%

本日のプログラム

■会長の時間

藤田龍文会長



皆さん、こんばんは。本日はロータリー情報委員会の担当例会ということで、高島委員長が卓話をしていただけるということなのでよろしくお願いします。そして、本日お客様2名いらっしゃっていただいておりますので、ご紹介させていただきたい

と思います。まず初めに、県南分区ガバナー補佐の大本様です。そして、県南分区副幹事の谷地様でございます。後程、お客様にはご挨拶いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。本日の5月の末の例会ということで、実はオリジナルのプログラムをやるのは今回が最後ということになります。6月のプログラムに関しましては計4回は回顧例会ということになりますので、永山龍太郎プログラム委員長の少しほっとした顔が浮かんでくるような気がします、最後の例会ということになります。オリジナルの例会ということになります。当年度は数えてきましたらば例会は全部で49回になります。ここ最近ロータリークラブの例会は毎週やらなくてもいいというような流れにもなっておりますが、我が西ロータリークラブはしっかり減らすことなく毎週昼夜おこなっておりまして全49回となっております。そのうちの今日は45回目ということで、残り4回の例会ということになりますので、是非皆さん回顧ということになります、奮って引き続きご参加いただければと思います。通常この時期になってくるとだんだんホッとしてくる時になってくると思いますが、地区に出向してる先輩たちが毎回例会前に打ち合わせをしてということで、地区大会の実行委員会に向けてどんどんいろいろな打ち合わせと次年度金田ガバナー年度が始まりますので、そちらに対するいろいろな打ち合わせで皆さんお忙しく段取りをしているというような形になってくると思いますが、ここ1週間ですと、5月26日に成井実行委員長のもと地区大会の打ち合わせがおこなわれました。地区の事務局の方もいらっしゃっていただいて、だんだん皆さんの企画を集結して一つの大会にしていくということで、だんだん煮詰まってくるということで、成井委員長や吉野副委員長大変だと思いますが、地区大会の成功に向けて頑張っていきたいと思っておりますので、是非よろしくお願いいたします。それと多分明日の新聞に多分大きく出ると思うんですが、今日ちょっと白河市のほうで白河市が白河藩が設立して今年で400年だそうです。今日初めてその実行委員会というのが白河で設立されまして、白河市長はじめいろいろな部分で今日設立総会を市役所でやってまいりまして、私も何故

か歴史には詳しくないんですがその中のメンバーに入れていただいたので、そういったところで白河藩になって400年と皆さん想像つきづらいかもしれませんが、小峰城を築城した丹羽長重公、その時代が白河藩が初めて設立された時代だということで、当時は白河藩は大変広うございまして、上は郡山の一部、須賀川の一部、天栄村の一部、そして小野町、平田村、玉川村、そして今の県南地域。石川、浅川等も含めた大変広いエリアが白河藩ということで当時は設立されたそうです。それからいろいろな大名が丹羽長重から、それから提灯まつりを設立したといわれてる本多家になって、そのあと引っ越し大名なんていう映画で有名になったやはりそちらも本多家が引き継ぎまして、それから奥平、松平、そして結城松平、松平定信公の結城家、松平家があって、それから最後に阿部藩の阿部家ということで、白河の幕末はその大名が彩られたということになっております。清水門、今建設中の小峰城に作っている清水門が今年の12月に大体完成すること、来年の白河藩設立400周年の大々的な清水門の開設とそちらを大きくやるということで、来年毎年行われてます小峰城の桜まつり。川越から鉄砲隊をお呼びした桜まつりもとても大きくやるというようなことを今日知らされてきましたし、来年の5月になりますが小峰城の所で10年ぐらい前もやったんですが薪能の能舞台をやるというのも今年企画してるようですので、まだ内部秘だということなので日にちは5月22日と言えませんが、その辺で大変大きくやるそうですので、ちょっと年度的には変わってしまうので次年度もしそういったところでロータリーの事業に4月11日が桜まつりで、5月22日が薪能というようなことで、大変大きな行事やらされるので青木次年度等に何か絡められることがあれば絡めてやるのも一ついいんじゃないかと。そして、関まつりの花火大会も白河藩400周年ということで大変多くの予算を組んでやるということもお聞きしておりますので、次年度はそういったところで白河市に関しては400周年のいろんな行事が小峰城を中心として行われるということですので、当年度は6月末で終わってしまいますが来年度、そして翌年度の方々はそういったところも頭に入れていただいて、私のとこに細かいスケジュールありますので、そういったところでロータリーに何か活動に絡めていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは、高島委員長の今日の例会楽しみにしておりますので、よろしくお願いいたします。

■幹事報告

運天直人幹事

○白河市国際交流協会会長 内藤義久：令和8年「日本語能力試験(JLPT)対策教室」の開催について(案内)

○白河市国際交流協会会長 内藤義久：令和8年度多文化共生講座「伝わりやすい日本語講座」開催について(案内)

○白河ユネスコ協会会長 須藤博之：令和8年度福島県ユネスコ活動研究協議会の開催について

○白河ユネスコ協会会長 須藤博之：令和8年度白河ユネスコ協会総会資料について(送付)

○2026-27年度地区戦略計画委員会委員長 平井義郎：地区委員会宛メールの転送設定について

○金田ガバナーエレクト事務所：2026-27金田年度日程表(最新版)の送付とセミナー変更のお知らせ

○2026-27年度ガバナー 金田昇：「クラブリーダーシップラーニングセミナー」参加御礼

○2026-28年度ロータリーの友委員会委員長 中川基成：2026-27年度のロータリーの友・地区代表委員会委嘱の件

■2025-26年度 県南分区ガバナー補佐 大木和彦様



白河西クラブさんのほうに今年は周年もあったので今回で4回目の訪問をさせていただきます。ガバナー補佐の大木和彦です。所属は須賀川ロータリークラブ。職業は不動産販売というふうなことで、十文字さんと一緒にいろんな所で会ったり

するんですけども。まず、その40周年大変お世話になりました。沢山ご馳走いただきました、またお酒も頂戴しました。本当に印象に残る周年だったなというふうに私の中でも思ってます。また、地区ラーニング、この間の協議会白河西の皆さんどうもお疲れさまでした。いろいろと次年度の準備が大変なんですけど、ガバナー補佐というのは実は例会に出てあんまり余計なことを話さないってということで、極力クラブの例会のプログラムを尊重して訪問しなさいというふうに言われてます。先程、藤田会長から残り1か月のようなお話がありました。私のほうもあと残り1か月で終わりますし、来週新旧の会長幹事会というのやる予定です。私は須賀川クラブなので、私の直前のガバナー補佐というのは設立順番でいくので白河ロータリークラブの佐藤演由さんになりますね。次、須賀川行きます。須賀川で私がやって、次のガバナー補佐は東白川のほうになります。佐藤健吾さんが一応やります。その後のガバナー補佐予定者はですね、石川ロータリークラブのほうから輩出されるような形になります。IMも大変お世話になりました。6月3日には、そのIMの報告と皆さんからいただきました浄財の決算見込み等を出しまして次年度に引き継いでいきたいと思います。本日もお世話になります。ありがとうございました。

■本日のプログラム

ロータリー情報委員会担当例会

●ロータリー情報委員会

高島裕委員長



改めまして、皆様こんばんは。本日のプログラムということでロータリー情報委員会担当なんですが、今日は二部構成ということで、私のほうが一部。金田ガバナーエレクトのほうにお願いしてあった部分がありますので、そちらで二部ということで今日

のプログラムを務めさせていただきたいと思います。今年度はですね、新入会員の皆さんが多く入ったということもありましたので、本当にロータリーの基礎の基礎ということをまず進めていきたいなと思っております。まず初めにですね、今日ご用意させていただいたのは新会員オリエンテーション用の『今日からロータリアン』という雑誌をご用意させていただきました。私のほうでこちらですね、まず皆さん初めにですね、ロータリーに入っていない方にロータリーってどんな団体なんですかと聞かれた時にどのようにお答えしていますか。なんか意外と答えに困ってる方もいらっしゃるのではないかなと思うんですけども。これまず初めに見開きにですね「ロータリーとは」という所がありまして、ロータリーの会員は人と人を繋ぎ、問題を解決し持続可能な変化を生みながら次世代の世界をより良い場所にすることを目指して共に行動していますということで書いてあります。基本的にはですね、職業を通じて地域のため世界のために良い事をしようというような団体だということがこちら辺に書かれているわけでありまして、こういった形でロータリーに入ってロータリーが詳しくなっていく方法としてロータリーを知る方法ということもここに書いてあります。これを読ませていただきますと「ロータリーを知るためには」ということで、まずロータリーに慣れることが第一ですということです。それには、例会に出席すること、ロータリーの活動はすべて例会から出発します。そして、例会以外の会合。つまり、フォーラムや情報集会、ロータリーを知るために勉強会のものがいろいろありますので、それらの会合に出席すること。そして、毎月配布されます公式地域雑誌『ロータリーの友』を読むことが大切だということです。多分これ皆さんロータリーに入った時に教えていただいたのではないかなというふうに思っています。その後ですね、ロータリーに入りますと例会に出ることになってきますが、その後ロータリーの設立と目的についてということでお話が出てくると思います。まず、ロータリーの設立と目的なんですが、こちらお互いに信頼できる公正な取引をし仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたいというような趣旨で設立されたということです。当然皆さんご存じの青年弁護士ポール・ハリスが

社会経済の発展の陰でですね、商業道德の欠如が目につくようになっていた頃に、こういったことを思いついてロータリーを作ったということになっております。日本のロータリーにおいてはまた後程クイズ形式になってますので一応飛ばさせていただきますと思います。ロータリーの奉仕理念というものがありまして、こちらの奉仕理念は先程お話したように他人に役立ちたいという心を発掘し育てていくこと、こちらがロータリーの奉仕理念というふうになっております。こちらいろいろ書いてあるんですが四つのテスト。あるいは、四つのテストですと歌に入ってますから皆さんご存じでしょうが、真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうかということ、こちら四つのテストこれに照らし合わせて行動してくださいということを書いてあるわけでありまして。その他いろいろクラブの会則とかそういう部分も書いてあるんですが、これ全部読んでるとちょっと時間がなくなってしまうので、まずここでロータリーの7つの重点分野こちらご存じの方いらっしゃるか、当然。これはSDGsともリンクしてるということで、持続可能な開発目標のSDGsとリンクする7つの重点分野です。こちら全部で今7つあるんですが、どうですか。一つか二つぐらいどなたか。諸橋さん、7つの重点分野幾つかお答えいただいてもよろしいですか。はい。水と衛生、とりあえず2つですね。あと他に今携帯で探してる方とかいらっしゃったら手を挙げて、あっ会長。家庭の平和。それは白河西だけに入ってますね。藤田会長の所と兼子聡君の所にある標語でございます。こちら残りは基本的な教育と識字率向上、地域社会の経済発展、疾病予防と治療、平和構想と紛争予防、そして2021年の7月から新たに環境という部分が入ったということで、これで全部で7つになります。環境が劣悪な方もいらっしゃると思いますが、ロータリーにおいてはそういった部分で7つの重点分野というふうになっております。ここからですね、皆様のお手元に配られてる「そうだ、会長とガバナーエレクトに聞いてみよう」というようなペーパーがあると思うんですが、こちらまず理念ですね。ロータリーとは人道的な奉仕をおこないすべての職業において高度な道德的水準を守ることを推奨し世界においては親善と平和の確立に寄与することを目指し、事業及び専門職に携わる指導者が世界的に連携した団体である。世界中の職業人、経営者、地域リーダーなどが集まり、奉仕を通じて社会に貢献する国際的な団体ですということで、こちら1905年にポール・ハリスがアメリカで創設しましたが、これアメリカのどちらでしょう。吉野バスター会長、アメリカのどこでポール・ハリスがロータリーを。はい、そのとおりでございます。さすがバスター会長、やっぱり違いますね。アメリカのシカゴで創設されました。ということで、目的はですね

ロータリーの大きな目的。こちら友情を深め職業を通じて社会に奉仕することで職業奉仕。これは会員の職業倫理を高めること。そこから広がる社会奉仕と国際親善を目的とするというふうになっております。また、日本におけるロータリークラブですが1920年、こちら福島喜三次さんと一緒に当時三井銀行の重役であったある方などが東京府に日本初のロータリークラブを設けました。このある方というのはどなたでしょうかということで非常に有名な方なんですが、成井さん。米山梅吉さん。米山梅吉さんと福島喜三次さんが東京府に日本初のロータリークラブを大正9年に作ったということでこちらが国際ロータリーから何番目の認証を受けての創立だったでしょうかということで、こちら会長のほうは当然ご存じですね。凄いですね、そうです855番です。はい、国際ロータリーから855番目に認証を受けて出来たのが東京ロータリークラブということであります。続きまして、ロータリアンの三大義務ということなんですが、こちら大竹さんわかります、どうぞお願いします。正解です、素晴らしい。なかなかこれ多分、上田さんに振ろうかなと思ったんですけど大竹さんと目が合ってしまったので、今度目が合った人じゃなくて下向いてる方にいきたいと思います。ということで、例会への出席、会費の納入、『ロータリーの友』の購読。これがロータリアンの三大義務と言われてるものでございます。続きまして、ロータリークラブの標語となります。アーサー・フレデリック・シュルドンの年次大会演説がきっかけで作られたという標語と、ベンジャミン・フランクリン・コリンズが自分自身のクラブで採用し厳守してきた原則がロータリーの公式標語となったものがありますが、こちらのロータリークラブに関して標語が二つございます。どちらもちょっと似たような感じなんですが、この標語に関してどなたかご存じの方いらっしゃいますか、じゃあこれはガバナーエレクトいつときですか。正解です、アーサー・フレデリック・シュルドンが年次大会演説で話した「最もよく奉仕する者最も多く報いられる」奉仕すればするほど報いられるというようなお話が一つの標語であり、もう一つベンジャミン・フランクリン・コリンズが自身のクラブで採用し続けてきた「超我の奉仕」ということが修正されてロータリーの公式標語となっております。ということで、ここから問題になります。まず一つ目、ロータリークラブの創立年はいつでしょうということで、A.1905年 B.1920年 C.1945年と3つご用意しました。こちらご存じの方いらっしゃったらお願いします。いないですか、知ってても言わないだけなんですか。孝弘くん、これ、孝弘君にはちょっとまだ難しいですか。正解。1905年にロータリークラブがアメリカシカゴで初めて設立されましたということです。続きまして、四つのテストは誰が考案したでしょうかという問題になります。A.ハーバード・テラー B.ポール・ハリス C.ビル・

ゲイツということで、どなたが考えた四つのテストでしょうか。もう一度いきます。A.ハーバード・テラー B.ポール・ハリス C.ビル・ゲイツ、どうでしょう。よしえちゃん、これわかります。はい、どうぞ。正解です。Aのハーバード・テラーが考案したものが四つのテストでございました。次の問題です。これは諸橋さんに事前に答えを言っていたいただきます。ロータリーの重点分野は幾つあるでしょうかということで、A.3つ B.5つ C.7つというふうになっております。諸橋さん、どうでしょう。7つでよろしいですか、先程2つしか言ってなかったですけど。諸橋さんのほうから7つということで、こちらロータリーの重点分野は全部で7つということなのでCが正解になります。次の問題にいきます。ロータリークラブ創設時、最初の例会が開かれた場所はどこでしょうということで、A.ホテル B.弁護士事務所 C.鉦山会社の事務所 D.レストランということで、こちらの答えのほうどなたかご存じでしょうか。最初の例会が開かれた場所です。長さん、どうですか。ホテルか弁護士事務所か鉦山会社の事務所かレストラン。Bの弁護士事務所、はい残念です。弁護士事務所ではなかったんですね。これは正解はCの鉦山会社の事務所ということで、シカゴの鉦山技師ガスターバス・ローアの事務所ということで、答えはCになっております。ということで、なかなかこれは知ってるのってなかなかないですよ、きつと難しいとこあります。私は問題出してる側なので知ってますけど当然。これ次孝弘君に聞いてみたいと思います。ロータリーという名称の由来はどこからきてるか。A.地球の回転 B.会長職の交代 C.例会場所を持ち回りにした D.歯車の回転。歯車の回転、そうするとDですね。はい、ありがとうございます。ちょっと残念でした、これはですね歯車の回転ではなく、今藤田会長が教えてください、会長。はい、そのとおりでございます、さすが会長、例会場を持ち回りにしてるということで、ロータリーという名前になったということになります。今では例会場を持ち回りでなく、同じ例会場でということになってますが、当時はまだ人数が少なく例会場というのなかったもので、持ち回りだったというふうに伺っております。続きまして、次、上田さん。ロータリーの歯車のマークの歯の数は幾つあるでしょうかということで、A.12 B.18 C.24 D.36。ここにあるので、はい。これは吉成さんご存じですか、これ歯車の数っていうのは、ロータリーの。36ということはDですね。Dの36、さすが吉成さん、間違っちゃいました。これ歯車の数、宮本先生、数えたことないですね。これ全部で24あるそうなんです。答えはCになりますけど、ロータリーの歯車の数は24本ということになっております。ということで、こういった知っててもいいのかな、知らなくてもいいのかなという問題もありましたけど、最初のほうに出した三大義務であったり、あとは標語あるいは持ち回りの意味とか、

そういったものはやっぱり知ってて損はないのかなと思っております。ということで、こういったクイズがいろいろロータリーで調べると出てくるんですけど、こんなロータリー今活発に活動はしていますが、ロータリークラブには水面下で問題などもあるようです。一つ目に、個人負担と経営者の高齢化。今、ロータリーのメンバーも少しづつ減ってる所もあるし、全体的には減っているということで、個人負担であったり経営者の高齢化ということで、メンバーの高齢化が危ぶまれてるところもあります。その他に二つ目、奉仕よりも会員増強が至上命題というふうになっております。奉仕をする事よりも会員を増強してしまおうというふうなほうに力がいってる。当然会員がいなければ奉仕もできないんですが、奉仕も大事であり会員増強も大事であるということで至上命題というふうに捉えられているようです。それから、例会出席の厳しさと現代のズレということですね。なかなか仕事が忙しくて先頭を切ってやってる経営者の方が多い中、例会出席がなかなか難しいということで、現在の時代のとのバランスのずれが出てきているということで、こういった問題が水面下の中ではあるようです。まとめとしましてですね、現在ロータリークラブはこうした課題を解決するため、出席のルールの緩和や会費負担を抑えた若い世代向けのプログラム、ローターアクトなどの導入を推進しているということです。なので、今後我々もこういった部分の問題を解決しながら、ロータリーが楽しい例会でありいつでも参加したいと思うような例会を作らなければいけないというふうに思っているところでございます。ということで、皆さんにお願いしたいのはこちら新人の方でしたら『今日からロータリアン』という雑誌を読んでいただいたり、あるいは例会に出席する。あるいは、地区大会、IM、こういったものに参加することによって、ロータリーをより詳しく知っていただけるということができるといふふうになっております。最後こちらですね、『今日からロータリアン』の一番後ろのページになりますが、こちらに誰もがはじめから立派なロータリアンではない。新会員のあなたはロータリーを学び、そしてロータリーで学ぶということで書いてあります。その他に、ロータリーの10得。交流関係が広がる。常識が広がる。行儀が良くなる。朗らかになる。社交的になる。顔に品が出てくる。几帳面になる。話題が豊富になる。健康になる。家族が喜ぶ。というふうに、ロータリーの10得ということで書いてあります。皆さんでロータリーを今後も勉強しながら一緒にやっていきたいなと思っております。ということで、第一部の私のほうのちょっとした簡単なクイズのほうはこれで終わりにします。ということで、この後二部金田ガバナリーエレクトのほうにお願いをしておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

●金田昇ガバナーエレクト

高島会員、お疲れさまでした。なかなか興味深い卓話というかプログラムだったと思います。私もこれからのですね、各クラブに公式訪問する時のための資料作りというか、そういうのやっています。その中で、ロータリーを紐解くということではいろんな、クラブによって変えますけども、まあそういうふうなご説明をしていかななくちゃなんないなということでクイズ形式は面白いのでちょっと取り入れてみたいと思います。その中で先程、超私の奉仕とかいろいろありますけど、私ロータリーで一番好きな言葉、「入って学び、出でて奉仕せよ」。ロータリーに入って勉強して、外に出て奉仕しなさいという言葉が大好きです。これ職業奉仕の原点みたいな話です。是非皆さんも覚えておいていただけたらと思います。それから、先程紹介された本なんですけど、こういう『今日からロータリアン』とこれだけ知っておけばロータリーの基礎知識とほとんどのロータリーの知識これに入ってます。これもあります。この2冊、私個人的に沢山持ってますので欲しい方いればプレゼントさせていただきますので、是非お声がけいただきたいというふうに思います。特に新入会員の方には無料というか当然ですけどお渡ししていつてますので是非お読みいただければと思います。時間をですね、どういう意味で私に振ったのかわからなかったんですけど、来月から回顧が始まります。私としては地区の回顧をちょっとやりたいなと思って地区出向者、今日何人かいらっしゃるんですけど、吉野さんと十文字さんに3分か5分くらいちょっと地区に出て一年間どんな事やったかということも含めて回顧でお話していただきたいなということにしておりますので、十文字さん、ちょっとお話しただけると助かります。

●2025-26年度国際ロータリー第2530地区

青少年奉仕委員会

十文字光伸会員



皆様、こんばんは。地区出向しました十文字です。私のほうはですね、青少年奉仕委員会なんですけども、青少年奉仕委員会のほうはですね、白河ロータリークラブの青少年奉仕関係でも何度か卓話をいただいております三春ロータリーク

ラブの増子委員長のもとでインターアクト委員会とRYLA委員会、青少年交換委員会の3つの委員会から構成されておまして、その中で私はインターアクト委員会という所で活動してきました。インターアクトについては中学生から高校生が地元でのボランティア活動や海外でのインターアクト会員、通称インターアクターと呼びます。その交流を通じて国際感覚を養っています。2530地区ではインターアクトクラブ加盟校が24校

ございますが、インターアクト委員会ではインターアクト活動の幅を広げ、インターアクターが楽しく自主的に活動できるクラブ運営を促すロータリアンがインターアクト活動の素晴らしさを理解しインターアクターと積極的に交流し、彼らの人間力向上に尽力することを目標として活動しておりました。今年度のインターアクト委員会のメンバーなんですが、船引ロータリークラブの吉田隆夫委員長をはじめ、本宮ロータリークラブの塩田尚子委員、南相馬ロータリークラブの岡田義則委員、福島南ロータリークラブの齋藤高裕委員、郡山南ロータリークラブの渡部真理委員とわたくし十文字の6名で活動いたしました。年間の活動といたしまして、昨年のもう初め3月2日ですね。地区チームラーニングセミナーがございまして、こちら「郡山ビューホテル」で開催され年度計画と予算案の策定がおこなわれました。昨年5月17日土曜日ですね、地区研修協議会がございまして「パルセ飯坂」で開催されました。各クラブの青少年奉仕担当者への説明がおこなわれました。7月12日土曜日ですね。こちらは前期地区委員会総会が「郡山ビューホテル」にて開催されまして、本会議の後に各分科会が開催されまして、増子青少年奉仕委員長の挨拶後、先程申し上げた3つの委員会に分かれまして年度計画等の協議がおこなわれました。昨年8月8日金曜日なんですけど、こちらはインターアクト委員会の活動でありましたインターアクト年次大会というのが会津坂下町中央公民館で開催されましたが、この日は白河西ロータリークラブの米沢中央ロータリークラブ様への公式訪問と被ってしまい欠席となりました。当日は、生徒、顧問84名、地区役員ロータリアン8名、各ロータリークラブ17名、ホストロータリークラブ6名、講師2名の計117名が参加しており、生徒さんからは楽しかったという意見が多く、短い時間でしたが充実した時間を過ごすことができましたといった報告書が上がっております。昨年8月31日、こちら青少年奉仕セミナーというのが「ユラックス熱海」にて開催されまして、ロータリーアクト、学友委員会と合同で各クラブ青少年奉仕担当者との懇談会をおこなっております。昨年の10月10日ですね、令和7年度インターアクトクラブ顧問連絡協議会がですね「南東北卸センター協同組合」にて開催されまして、過去の活動状況、令和7年度の地区行事報告、令和8年度地区行事計画について顧問の先生方との協議がおこなわれました。10月26日日曜日ですね、こちらはロータリーの地区大会ですが、こちらの中で青少年奉仕会議をですね、ロータリーアクトと学友2回、米山2回と合同で実施いたしました。今年に入りまして1月17日の土曜日、郡山「ホテルハマツ」にて後期地区委員会総会が開催されまして、その中で各委員会ごとに後期計画の協議がおこなわれました。あと本年度の最大の目玉でありまし

た今年5月9日、5月10日ですね。二日間におきまして、5月9日は三春町の「コミュタン福島」。10日は郡山「ビューホテルアネックス」にて第13回全国インターアクト研究会福島会議が開催されました。こちらはですね、開催するにあたり昨年の7月15日に実行委員会が創設されまして、「郡山ビューホテルアネックス」にて第1回実行委員会発会式が開会されました。メンバーはですね、実行委員長に志賀利彦パストガバナーはじめ、大木元青少年奉仕委員長ですね。あとガバナー枠に泉田ガバナー、早川敬介直前ガバナー、金田昇ガバナーエレクト、網代ガバナーミニの4名とRIJYEMから津留RIJYEM事務統括、斉藤睦美RIJYEM事務局の2名、合計18名で毎月ズーム会議を開催しながら準備を進めてまいりました。5月9日、1日目の「コミュタン福島」では基調講演に「双葉厚生病院」病院長、重富秀一様による「医療現場から見た原発事故直後の現状と復興、再生の軌跡」というテーマであとインターアクト活動の事例発表、館内施設体験等がおこなわれました。5月10日、2日目は「郡山ビューホテルアネックス」にて本会議、分科会、交流会、報告会がおこなわれました。昨年の長野会議では参加者が120名ということに對しまして、本年度福島会議では220名の参加とより多くの参加者を募ることができました。会議の終了後泉田ガバナーからは参加された多くの方々からお褒めの言葉をいただき、同期ガバナーのラインでも来年度は予算を増やして是非インターアクターを連れて参加したいといった声上がるほど大変高い評価をいただいたとの報告もございました。いろいろ役割分担もありましたが課題もありまして、1日目の「コミュタン福島」には全国から新幹線で郡山駅に集まり、大型バス3台とマイクロバスで140名を送迎するというので、私が当日誘導担当班となりまして、船引ロータリークラブのお手伝いのメンバーの方とインカムを使いながら24名体制で対応させていただきましたが、途中から連絡が途絶えましておかしいなと思いましたらインカム本体の底が開いてしましまして、途中で充電型のバッテリーがなくなってしまう連絡つかなかったもんですから、郡山駅とバス乗り場を常に往復しながらの乗車確認ということで、ちょっと効率が落ちてしまったことがございました。多分郡山の駅のどこかに電池落ちてるんじゃないかと思います。あともう一つはロータリアンと顧問教師が集まる歓迎懇親会で、当初の式次第の中で手に手つないでのソングリーダーがインターアクト委員会の十文字光伸となっております、これはちょっと私、水面下で吉田幹事のほうに連絡を取りまして写真撮影班とちょっと変更してもらいました。泉田ガバナーの評価も変わってしまう可能性もありましたので、結果的にはナイス判断だったのかなと個人的には思っております。いろいろありましたが楽しく

一年間を活動する事ができました。また最後に6月19日にいわきの「いわき秀英学園」にて最後の事業ですかね、インターアクトリーダー研修会というものが残っておりますが、参加しながらいきたいと思います。今回2530地区初の第13回全国インターアクト研究会福島会議を開催し大変貴重な経験をする事ができました。本年度に地区出向を承認いただきました藤田会長はじめ会の皆様に感謝申し上げ報告に代えさせていただきます。一年間、ありがとうございました。

●2025-26年度国際ロータリー第2530地区

会員増強委員会

吉野敬之会員



皆さん、こんばんは。今年度は会員増強委員会という所に出向いたしまして、まあ十文字さんみたいに根が真面目ではないので、ちょっと短めの文章でしか作ってこなかったんですけど。富岡の西山委員長という、うちのほうにも去年8月に卓話に来ていただいて、見た目は本当に女性らしい方なんですけど、中身はちょっとライオンみたいなメスライオンみたいな獰猛な性格をしております、それを牙を隠しながらという中で一年間活動させていただきました。皆さんご存じかと思うんですけど、今年はまだDEIという会員増強DEIという委員会になってまして、中身が会員増強とDEIという二つに分かれてました。私はその会員増強の小委員長なんですけど印刷上、委員長となっておりますね。だから、委員会の時に委員長と言われるとDEIのほうにも委員長いますので3人が振り向くというおかしな会議をやったんですけど。会員増強のほうは私のほうの担当で、去年の7月に会員増強セミナーということで渡辺委員長と中嶋副委員長、当クラブの会員増強の2人にお越しいたいて、今年一年間他のクラブからもそういった担当の委員長、副委員長、あとは会長に来ていただいて、会員増強今年一年頑張りましょうということでやらせていただきました。それと11月に新人セミナーということで、うちのクラブからも18名程強力に参加をしていただきまして、中身はアンケート調査の結果、非常に楽しかったといういろいろまたやってほしいというようなお話を頂戴するぐらい盛況だったということで、参加していただいた方、またご協力いただいた皆様には改めて御礼申し上げるところでございます。会員増強の場合皆さん先程来お話するように1丁目1番地みたいな言い方もしますし、やっぱり根幹ですよというような言い方をします。ガバナーの重点項目って毎年一番最初のところにうちにも出てくると思うんですけども、そこにも必ず会員増強は出てきます。いろんな意味があると思います。もちろん会費の事もありますが、や

っぱり影響力の事もあると思うんですね。人数が多いということとはやっぱり影響力が強いということで、ここ数年皆さんもご存じのように年々減少しております。それを増やすという努力を皆でしていきましょうということを啓蒙するための委員会でございます。委員会のメンバーだけがシャカリキになって動いてもやはり実数は上がってこないですし、如何にそういう会員増強が大切ですよという思いを各クラブの皆様方と共有できるかということにかかっているかなと思います。それは委員長が各クラブのほうに卓話に行ったりいろんな形で啓蒙活動続けまして今年度は3月までは非常に好調に推移しておりましたが、やはりロータリーのというか、こういう団体の宿命といいますか、3月で各企業の方達が一回転勤等で退会されるというケースがやっぱり多いので、3月以降非常に人数が減ってくるということで、今年は確か100名以上の増員があったんですが、実際の3月の底打ちはやっぱり減ってきているということらしいです。人口が減っていますので、それに合わせていいいますかどんどん減っていくことは致し方ないと思うんですけども、やはり会員増強をやる時によく言われるのが、やっぱりクラブに魅力があれば当然入ってくるよねということですので、そういう話はよく出ますので、クラブごとにそういった思いを一つにして、それをまた発信できるというふうなことをやっていくことが会員の力を付けるということにもなるでしょうし、ひいてはロータリーの地位、価値を上昇させて会員増強に繋がるのではないかとということを一年間かけて学んで、多分私は飲み会にもあんまり出てませんし、西山さんにはあんまり貢献してないんですけども、結構好かれてはいると思います。それで次年度何故かわたくしまた会員増強の副委員長を仰せつかっておりまして、次年度の話で恐縮なんですけども次年度はやはり浜通りのほうの浪江の増子委員長というこれがまた浪江のというか浜通りの西山さんの対極にいる方でして、羊のように優しい方です。西山さん、これやってあれやると言うんですけど、増子さんはあれもやっていただくと助かるんですけどねえっていうふうに3日に1回ぐらい電話かかってきます、今のところ。それでまたここでお話をさせていただいて恐縮なんですけど、先週の例会でもお話をさせていただいたように、会員満足度アンケートというものを来年度に向けて今年度から実施させていただいております。ちなみに、まだアンケートにお答えになっていない方、手を挙げていただいてよろしいでしょうか。私は正直実数知ってますからね。ここのうちのクラブが何人答えてるか知ってます。正直にしましょう、手を挙げましょう。はい、その方は今日の夜12時までには間違いなくアンケートにお答えください。ちなみに、このアンケートは委員会としては100%の回答を目指しております。今、既に100%の回答のク

ラブが実はあるんです。喜多方クラブです。喜多方クラブは100%のメンバーがもう既に回答をしております。やはり、うちの次年度、今年度と次年度と両方なんですけど思いとしては、やはりこの会員満足度アンケート調査やるよって会長が言った時に、たまたま私はこのクラブにいるので私から発信すること多いんですけど、他のクラブさんは会長から多分皆さんにお伝えしてるんですね。もしくは、会員増強委員長がお伝えしてると思うんですけど、どちらにしても会長さんからお話はされると思うんです。そうすると、変な話その会長が皆さんからどう思われてるか。その会長の一言が皆さんにどう受け止められてるか。うちのスタッフによく言うんですけど、嫌いな人の親切より好きな人の我儘がいいって。やっぱり人間関係ってそうだよな。好きな人に言われるといやでもやるんですよ。なのでこれはそういう人気調査にもなるよねなんていうことを委員会でも言ってます。まだ過半数には達してない。自民党支持率よりは若干弱めかなという、締め切りまではあと2週間ほどでございますので、最後に向けて気持ちよく藤田会長が飛び立てますように皆さんのご協力をお願いしたいと思います。常に継続して委員長が代わろうが何しようが、会員増強は一点やり方としても会員増やすんだということを、頑張ってきました。ということで、報告させていただきます。

●金田昇ガバナーエレクト



ありがとうございました。会員満足度アンケート調査というのは、私の個人的な会員増強の思いで次年度の委員会の方に振りました。ただ、公式訪問迄に間に合うようにということなので、できれば今年度中に集計を終わらしていただければというふうに思ってますので、ガバナー輩出クラブが50%ではちょっと様になりませんので、是非ご協力をいただけたらと思います。それと今ほど二人だけなんですけども、地区の委員会に出向された方のお話を伺いました。地区ってなかなか遠い所にあるようなんですけども、実際はクラブを支えるために皆さんがいろんな活動してるところでございます。また、次年度私ガバナーということでいろんな白河西クラブの皆様が地区に出向したりお手伝いに来たりということでお世話になると思います。私の回顧はまた後程、何かの機会にさせていただきたいと思います。本日はありがとうございました。